

理念を共有できる職員を 「財産」として育成

住宅型・介護付き有料老人ホーム 「アシステッドナーシング&リビング鶴の苑」^{さと} — 東京都町田市 —

「生涯暮らせる安心の住まい」をコンセプトに、入居者の健康状態に応じた3つの居住ゾーンをもつ「アシステッドナーシング&リビング鶴の苑」は、年間の看取り率が9割を超える。「自分たちが入りたい施設をつくる」「最期までお世話させていただく」という創業者の思いが現場職員に浸透し、継承されているのだろう。職員こそが大事な財産だとして、法人の理念に共感できる職員の育成や、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくりに力を入れている。



職員は柔軟な勤務体系で働き続けることができる

カサポーターによって発見される。めている。お互い様の気持ち

社協議会に報告し、必要に応じて